

ISUZU

カーボンニュートラルへの取り組み



いすゞグループは、2020年3月にいすゞ環境長期ビジョン2050を発行

ビジョンイメージ

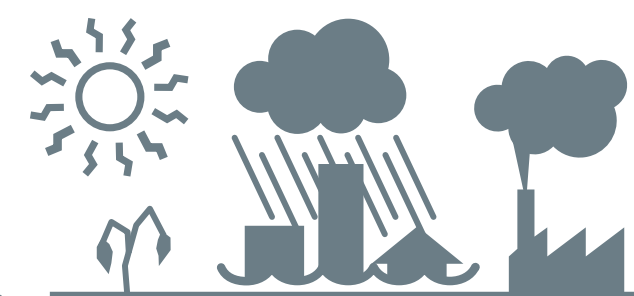
気候変動をはじめとする地球環境問題が深刻化し、
社会全体が重大な岐路に立っています。

いすゞグループは「豊かで持続可能な社会」の実現に向け、
地球環境への負荷を最小限にすることを目指し、

いすゞ環境長期ビジョン2050 を策定しました。



いすゞが目指す
豊かで持続可能な
望ましい社会



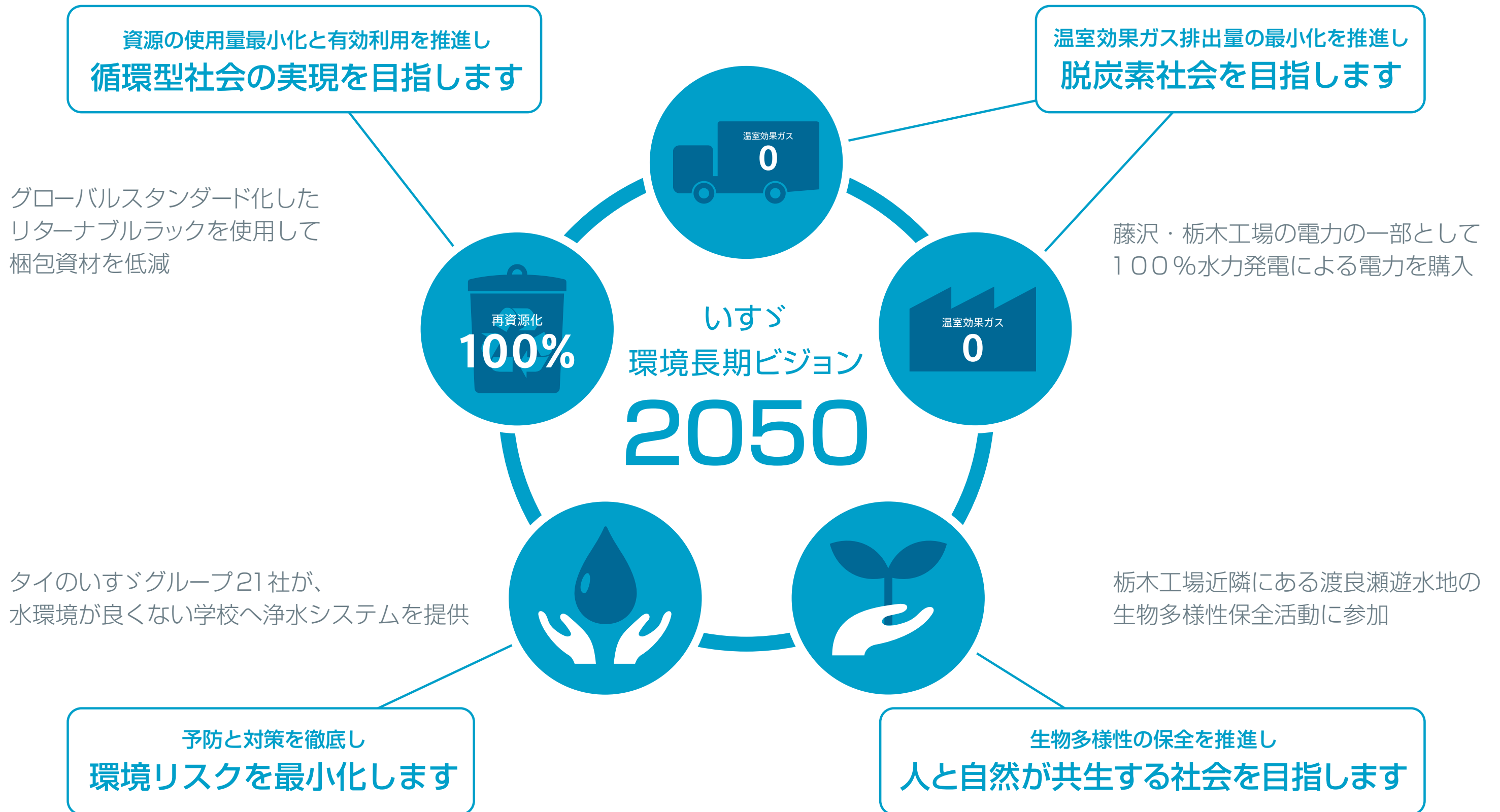
望ましくない社会

現在の社会

環境負荷が高い社会

環境負荷が低い社会

5つの挑戦を掲げ、達成に向けた取り組みを推進



2050年までに、いすゞグループ製品のライフサイクル全体で
温室効果ガス(GHG)ゼロ*を目指します

※温室効果ガスゼロ；排出量と吸収量がプラスマイナスゼロ

製品・サービスを通じた気候変動対策



温室効果ガス排出量の最小化を推進し
脱炭素社会を目指します

地域のエネルギー事情やお客様の用途・ニーズに対応する

次世代車両の開発普及

バイオエネルギーなどの

脱炭素エネルギー活用

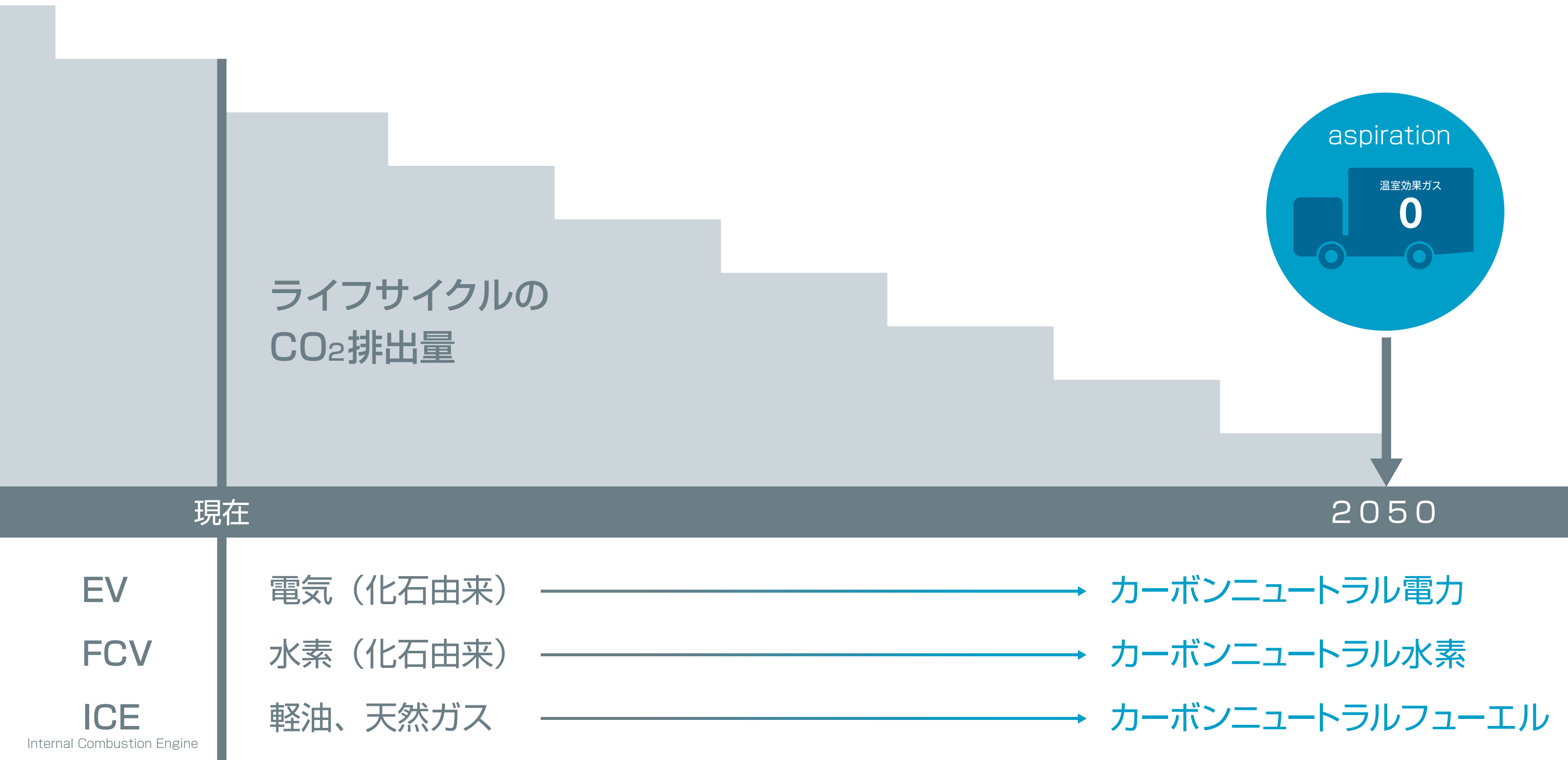
コネクテッド化、隊列自動走行などによる

物流の整流化・効率化



CDP調査の「気候変動」部門で最高評価である「Aリスト」企業に選定

2050年までにカーボンニュートラルを目指す過程においては、
経済合理性・利便性・エネルギーセキュリティに配慮し、段階的にCO₂排出量を削減していく



様々な動力源に対応する車両を量産・開発中

FCV

2020年
本田技術研究所との
共同研究開始
(大型トラック)



EV

2019年
モニター開始
(小型トラック)



LNGV

2018年
モニター開始
(大型トラック)



バイオ
フューエル

2014年
DeuSEL®
モニター開始
(中型路線バス)



HEV

2005年
販売開始
(小型トラック)



2012年
販売開始
(大型路線バス)



CNGV

1996年
販売開始
(小型トラック)



2015年
販売開始
(大型トラック)

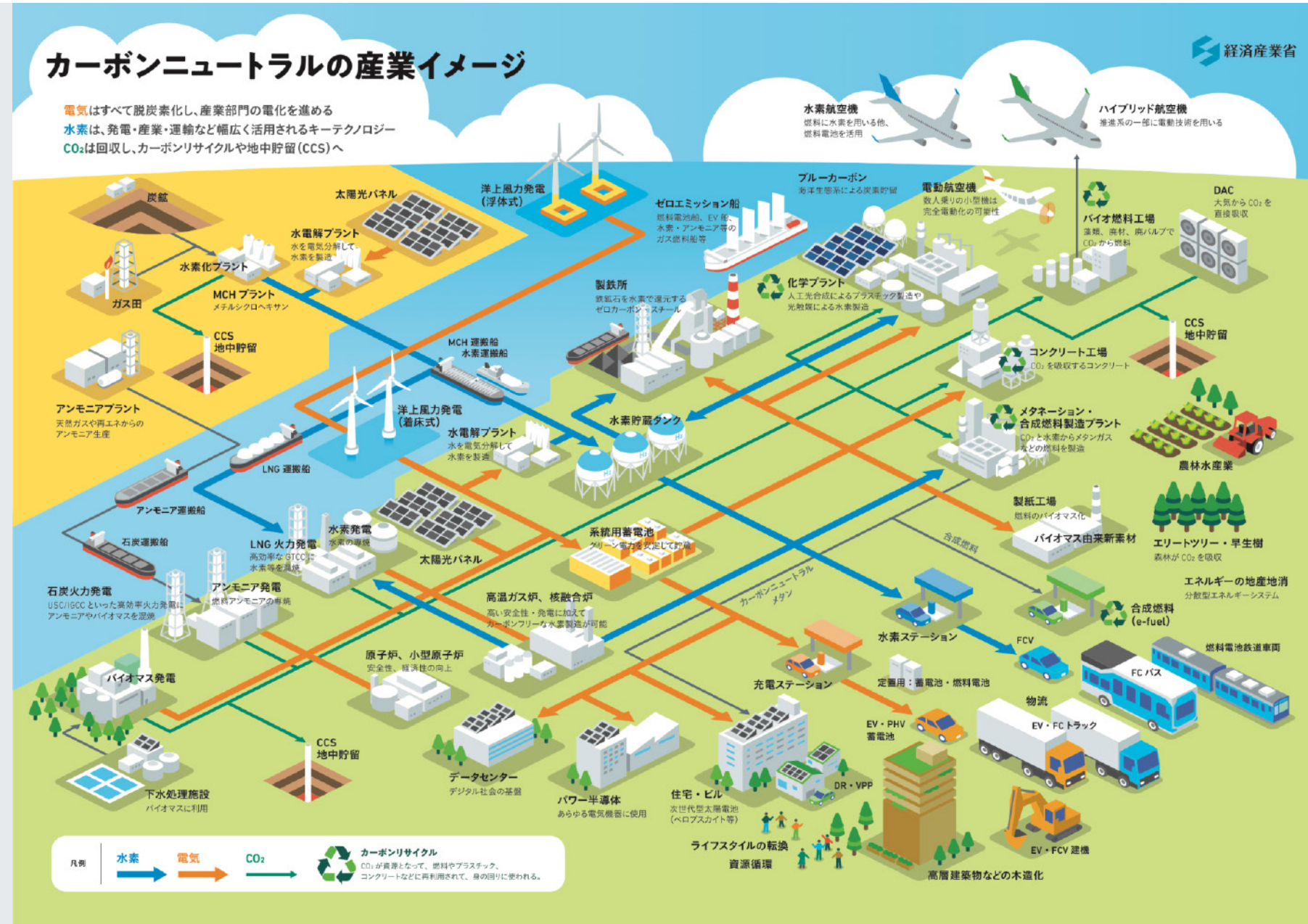


2010

2020

カーボンニュートラルに関する日本政府の動向

政府が2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言
この挑戦を経済と環境の好循環に繋げる政策「グリーン成長戦略」を発表



日本のカーボンニュートラル達成に向けて国が一丸となって挑戦し、取り組みを加速させる姿勢が明確に出された

出典：「経済産業省：2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」(2020年12月25日) <https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201225012/20201225012.html>

2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

- ・企業の前向きな挑戦を全力で応援
- ・経済的手法(カーボンプライシング等)を躊躇なく取り組む

高い目標の設定

成長期待する14分野に目標設定

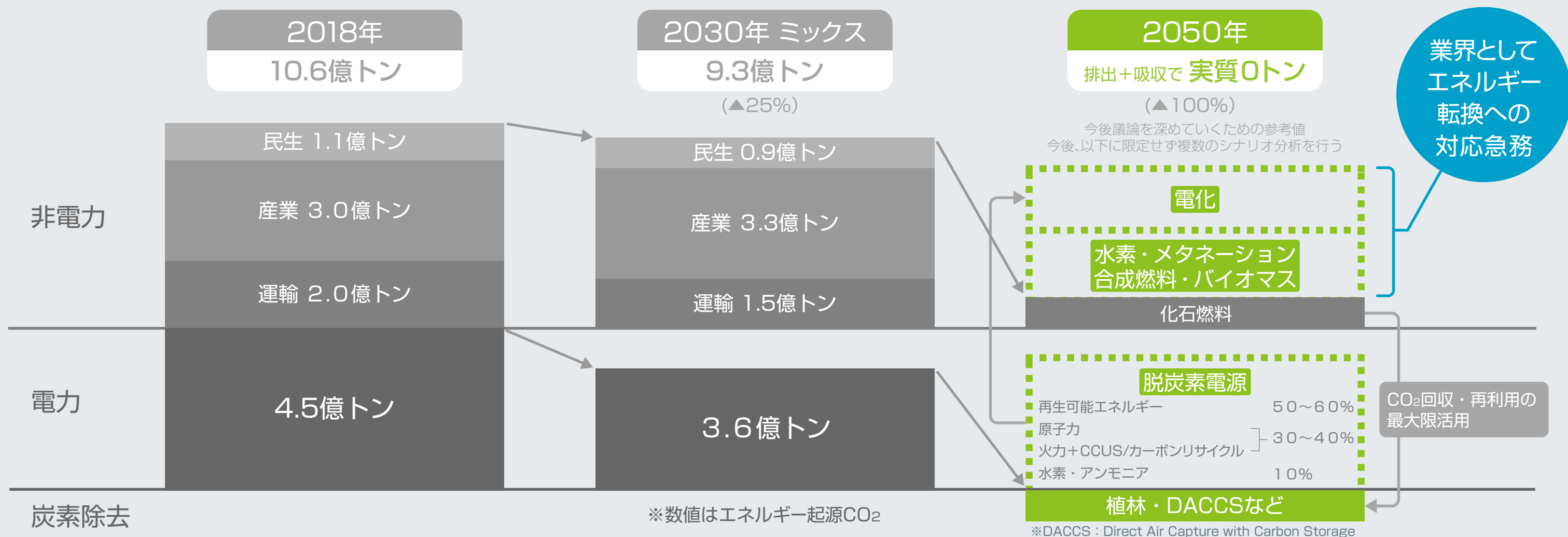
実現に向けての政策

資金の誘発、規制改革、国際標準化の推進

エネルギー戦略

2050年のエネルギー起源を参考値として表明

(参考) カーボンニュートラルへの転換イメージ



出典：「経済産業省：2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」(2020年12月25日)を加工して作成 <https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201225012/20201225012.html>

いすゞは、カーボンニュートラル車を早期に提供するだけでなく
その実用性を向上させる活動にも積極的に取り組んでまいります

商品

EV・FCV・ICE (DE・HEV・CNG/LNG)

カーボンニュートラル車の開発・率先投入

経済合理性や利便性等、普及への課題解決にも働きかけ

物流効率化・利便性向上

MIMAMORI,PREISMなどの稼働サポートサービスの進化

安全かつ高稼働な運行サービスの提供

物流・IT事業者と実証を踏まえながら開発推進

カーボンニュートラルエネルギー

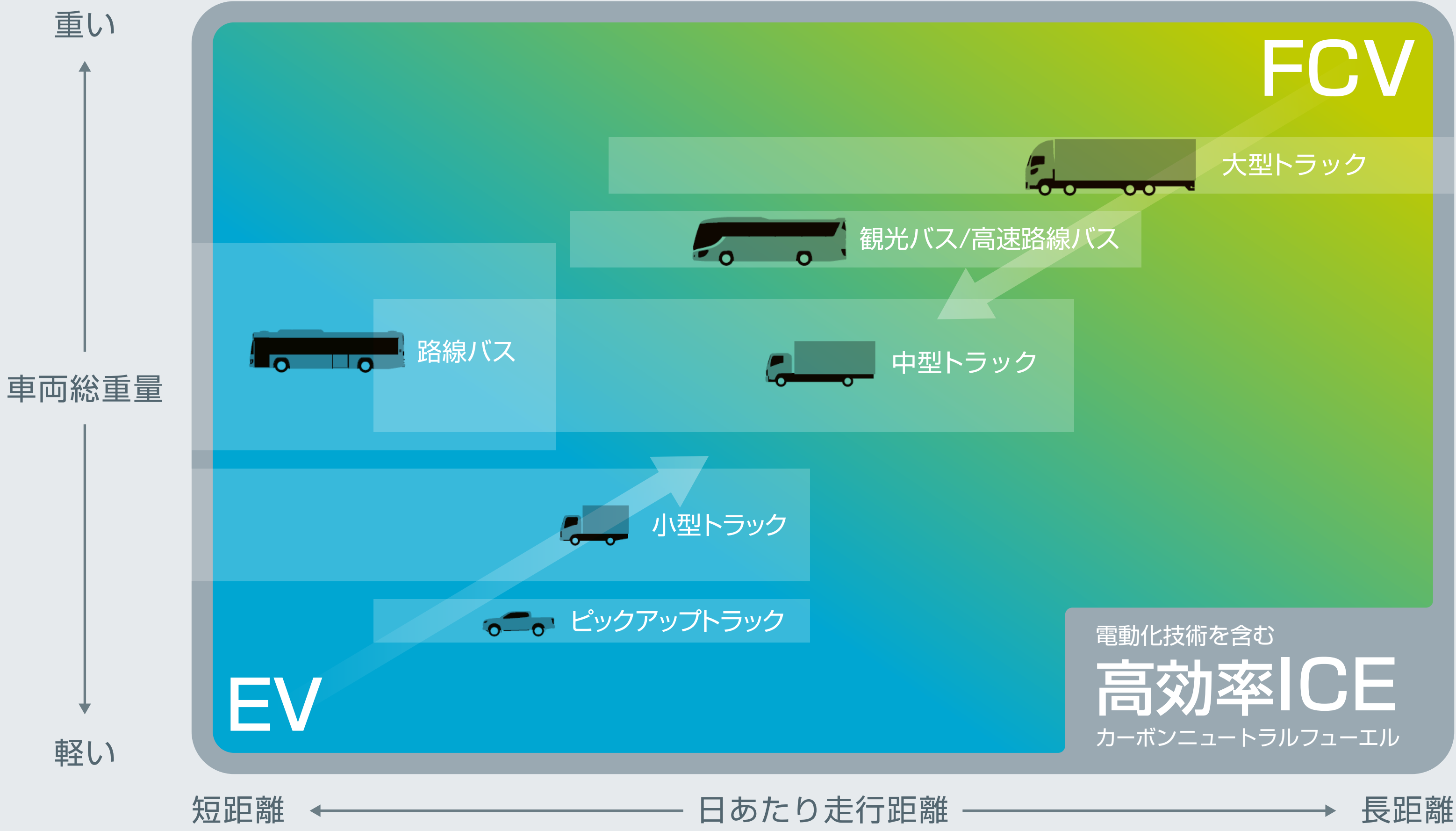
電気、水素、脱炭素燃料

実用化・普及加速活動に積極的に参画

使用者の立場として、規格化、標準化、実用化に向けた評価等への協力

現在

2050



電動化への取り組みを着実に推進中

EV 小型トラック

2019年 宅配／コンビニ配送／ゴミ収集にてモニター活動開始
経済合理性や利便性を検証し量産化に向け玉成

2022年度に量産車を発売予定



FCV 大型トラック

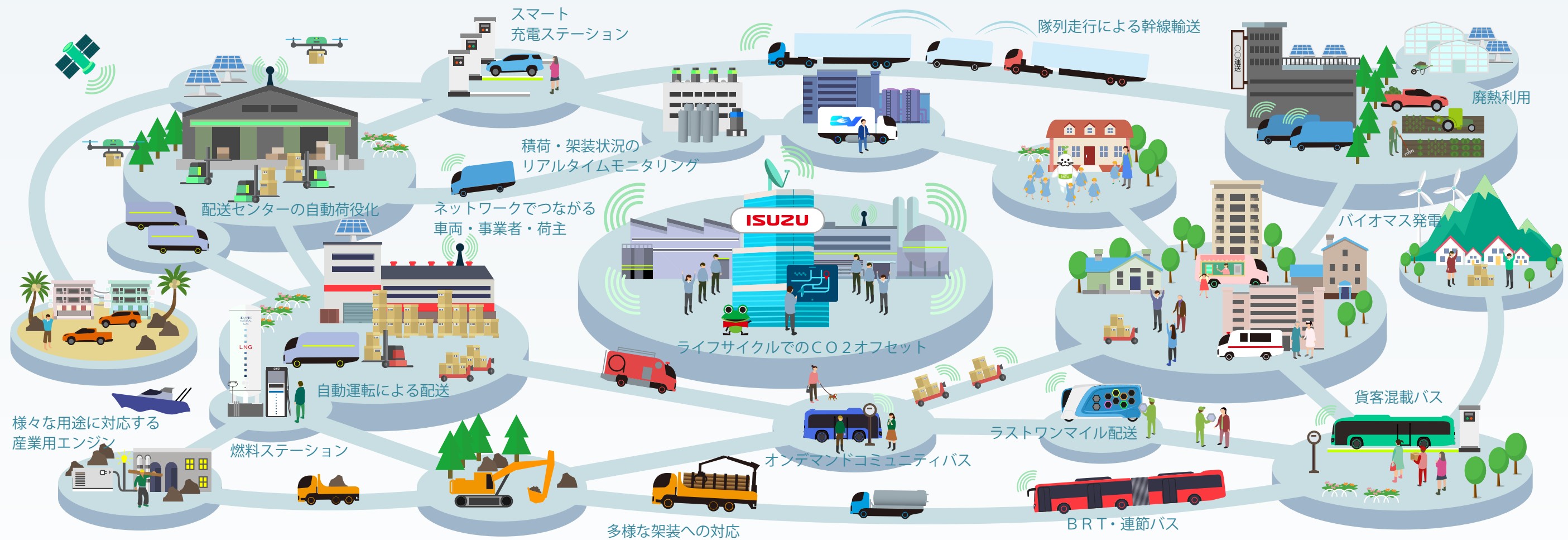
2020年 本田技術研究所との共同研究開始

2022年度にモニターを開始予定



脱炭素社会の実現に向け、広く業界やステークホルダーと積極的に協力してまいります

当社が創造したい未来社会



物流エンジニアリング

車両に関わるハード、サービス、
管理支援ソリューションなど

社会インフラサポート

走行・乗降・荷役をスムーズにする
次世代交通インフラの構築・運営への参画

エネルギーマネジメント

クリーンで安心な動力源を活用した
産業向けソリューション

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

